

令和7年度第1回龍ヶ崎市文化財保護審議会
会 議 次 第

令和8年1月23日（金）

午前10時から

龍ヶ崎市役所 5階 全員協議会室

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 委員紹介

4 会長／副会長選出

5 会長あいさつ

6 議 事

- ・議案第1号 龍ヶ崎市指定文化財の指定について
候補物件：大刀・剣（桜山古墳）

7 閉 会

大刀・劍〔桜山古墳出土〕

種 別：歴史資料
所 在 地：龍ヶ崎市馴馬町 2488 番地
管 理 者：龍ヶ崎市

桜山古墳は、資料の案内図にありますとおり、市の北東部、元の長峰町で現在は白羽という地区にあった前方後円墳で、平成2年（1990）1～3月に財団法人茨城県教育財団が調査しています。資料の航空写真にもありますとおり、大きな古墳で市内最大のものであります。

茨城県教育財団の発掘調査報告書によりますと、古墳時代前期（5世紀）に構築されたもので、茨城県内でも古い部類に入ると考えられています。

この古墳からは、副葬品として今回の大刀・劍が出土しています。

大刀は全長 81.5 cm、刀身長 65.0 cm、平造りの直刀で、^{なかご}茎中央部近くに^{めくぎあな}目釘穴が1か所あいています。

劍は全長 28.3 cm、刀身長 24.3 cmで、劍形で扁平な形状で反りがなく、中央部にふくらみを持っています。

市内最大の前方後円墳から出土した大刀と劍は、古墳時代前期の歴史を知る上での貴重な資料でありますことから、これを市指定の文化財に認定したいとするものです。

以上となります。ご審議の程、よろしくお願い申し上げます。

【参考文献】

- ・茨城県教育財団「龍ヶ崎ニュータウン内埋蔵文化財調査報告書 20 桜山古墳『茨城県教育財団文化財調査報告書』第 61 集 1990 年
- ・企画展「長峰にあった古墳群と城跡」龍ヶ崎市歴史民俗資料館 2003 年